

74

NAGAI LEBEN

第74期報告書

2022年9月1日から2023年8月31日まで

いのちの力になりたい。

 ナガイレーベン株式会社



ごあいさつ



代表取締役社長

澤登 一郎

長年にわたり猛威を振るった新型コロナウイルス感染症も医療従事者様の献身的な努力により治まりはじめ、社会経済活動も正常化に向かっています。

一方で、インフレの進行に伴う原材料価格及びエネルギー価格、人件費の高騰、為替の変動など、先行き不透明な状況が続いています。これらの影響により、業界のサプライヤーのみならず、医療・介護機関も含め、経営環境は急速に厳しさを増しています。

このような環境下、今期売上高は期初見直しを下回ったものの、営業利益は利益率改善施策の結果、計画を若干上回ることが出来ました。

引き続き、厳しい経営環境が予想されるものの、当社の理念である「命の力になりたい」の志を貫き、皆様の期待にお応え出来る企業を目指してまいります。

あたりまえ、という奇跡。

急激に変化する環境の中で、人が人らしく、私が私らしく。一人一人が自信を持って生きることのできる社会に求められるのは、安心と希望ではないでしょうか。ナガイレーベンとは人とともにある自然や揺るぎない伝統に、その答えを見出そうとしています。自然をコンセプトに開発した「アースソング®」はその一例で、医療関係者から高い評価をいただいています。今年はさらにグローバルな視点に立って、伝統美を尊重する英国のマッキントッシュと手を結び、「伝統と革新が響き合う」をテーマに先進技術を取り入れた格調高い白衣を誕生させました。患者さんや高齢者の尊厳と誇りへの配慮は言うまでもありません。一世紀以上にわたり、白衣の歴史を作り続けてきたナガイレーベン。またひとつ新たな白衣の世界を広げます。



MACKINTOSH PHILOSOPHY medicalwear®

伝統と革新が響き合う。

英国を代表するアウターウェアブランド、マッキントッシュ。そのセカンドラインとして誕生した「マッキントッシュフィロソフィー」は、英国の伝統を踏まえ、現代のライフスタイルに欠かせないスタイルと機能性を追求しています。そして、メディカルウェアの伝統を積み重ね、絶えず革新し、医療現場が求める機能性と利便性の未来を追い求めてきた、ナガイレーベンの。それぞれのフィールドで、奇しくも伝統と革新を大切にしてきた両者の哲学が響き合いました。デザインのためのデザインではなく、機能性をカタチに。飽きのこない、スタンダードと言えるメディカルウェアを創出していきます。



ブライトデイズ®

.....
Bright Days®
.....



自分らしさを信じる。美しさの始まり。



ビーズベリー®

Beads Berry®

命を繋ぐ、思いやり。



アースソング®

EARTH SONG®

地球の歌が聞こえるように。



4D⁺

4D⁺

本物のリーダーシップにふさわしく。

B 連結業績ハイライト Business Highlight

第74期決算の概要

売上高	171億円	前年同期比 5.6億円減
売上総利益率	43.9%	前年同期比 0.5ポイント減
営業利益	46億円	前年同期比 4.3億円減
当期純利益	32億円	前年同期比 5.5億円減
総資産	473億円	前年同期比 0.1%増
自己資本比率	91.1%	

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、活動制限が解除され、社会経済活動の正常化に向けた動きが進行したものの、ウクライナ情勢の長期化などの地政学上リスクの継続や、原材料価格及びエネルギー価格の高騰、為替の変動などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、インフレ影響の拡大・長期化による医療・介護機関等での経営環境の悪化もあり、売上高は前年同期比 3.2%の減収と厳しい結果となりました。

生産に関しましては、急激な円安の進行による原価上昇の影響があったものの、為替先物予約により影響の低減を図り、前年比 0.5ポイントダウンの43.9%となりました。

来期の業績見通し

売上高	178億円	前年同期比 3.6%増
売上総利益率	43.4%	前年同期比 0.5ポイント減
営業利益	46億円	前年同期比 0.2%増
当期純利益	32億円	前年同期比 0.2%増

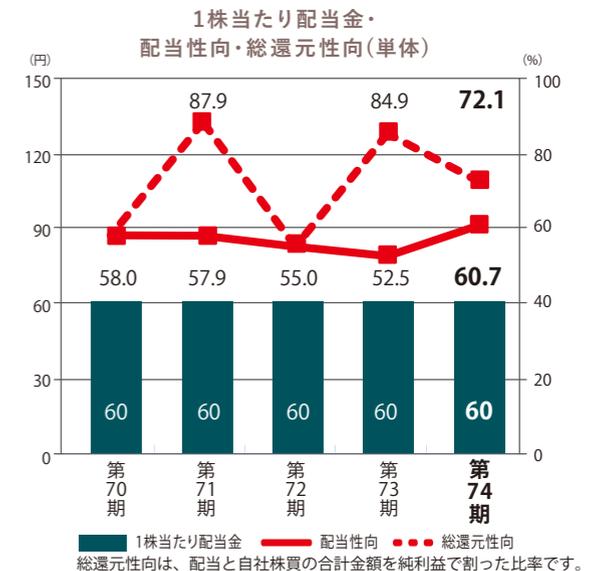
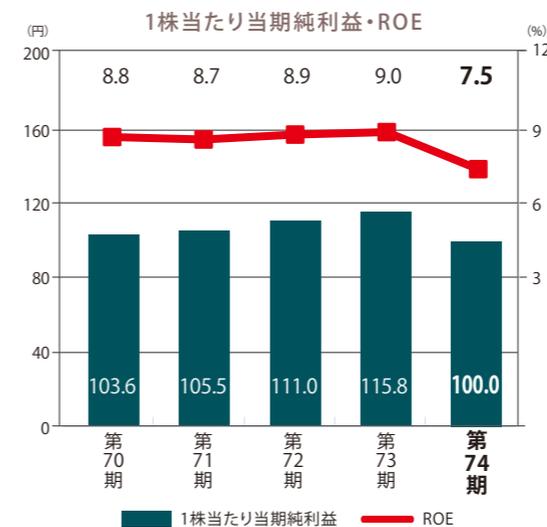
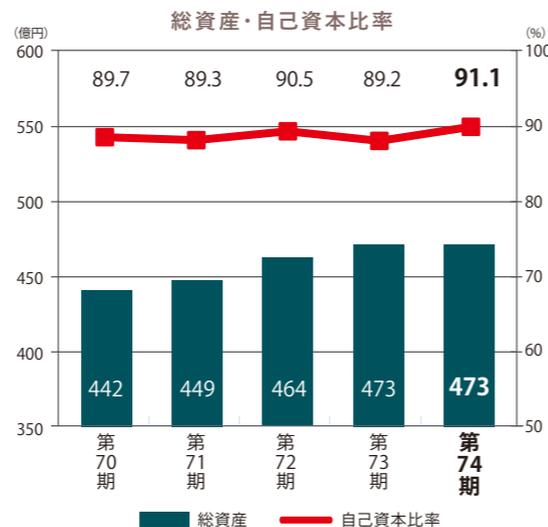
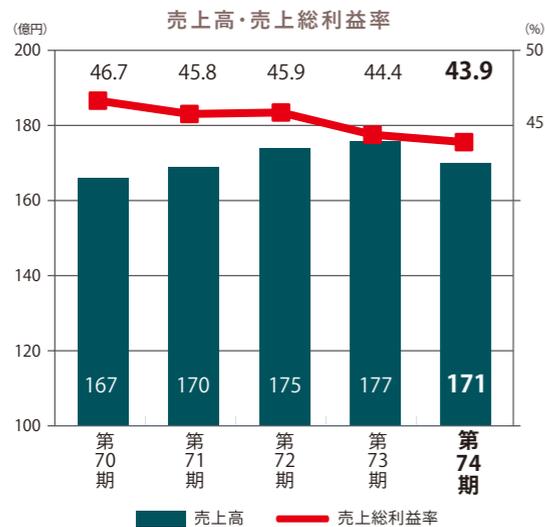
医療・介護業界では引続き物価上昇の影響を受け厳しい経営環境が続くものと考えられます。しかしながら、2024年6月に予定されている診療報酬・介護報酬の同時改定ではその対策として報酬本体の引上げが検討されており、その改定率が注目されるところであります。

このような状況下において、当社は新たなブランドとして「マキシントッシュ フィロソフィー」の投入、前年から好調な「アースソング」シリーズのラインナップの充実により市場の購買意欲を刺激し、さらに高機能患者ウェアの拡販によるシェアアップ、手術ウェアではコン

ペルパックの全国展開を推進することで、過去最高の売上高を目指します。

生産に関しましては、引き続き原油相場高騰による原材料価格の高止まり、人件費の上昇も見込まれる中、国内外の適地生産の見直しをさらに進めることで、原価低減に努めてまいります。また国内物流費の高騰が予想されるものの物流体制の見直しを進めコスト低減に努めます。

主な経営指標



Financial Statement

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 2022年8月31日	当期末 2023年8月31日
(資産の部)		
流動資産	38,902	38,995
固定資産	8,445	8,382
資産合計	47,347	47,377
(負債の部)		
流動負債	4,048	3,223
固定負債	1,044	940
負債合計	5,092	4,163
(純資産の部)		
株主資本	42,229	43,164
その他の包括利益累計額	25	49
純資産合計	42,255	43,214
負債純資産合計	47,347	47,377
1株当たり純資産	1,309円83銭	1,346円05銭

株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

科目	前期末 2022年8月31日	当期末 2023年8月31日
株主資本合計(期首残高)	41,676	42,229
当期変動額	592	935
株主資本合計(期末残高)	42,229	43,164

(2023年8月31日現在)
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てています。
この財務諸表は主要な項目を表示しています。

Point
流動資産は、棚卸資産の増加等により、前期比92百万円の増加となりました。

Point
固定資産は、建物及び構築物の減価償却費等により、前期比63百万円の減少となりました。

Point
株主資本は、前期比9億35百万円増加いたしました。株主還元として、19億35百万円の配当金の支払を実施いたしました。

損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期末 2022年8月31日	当期末 2023年8月31日
売上高	17,745	17,181
売上原価	9,863	9,634
売上総利益	7,881	7,547
販売費及び一般管理費	2,850	2,942
営業利益	5,031	4,604
営業外収益	147	118
営業外費用	39	50
経常利益	5,139	4,673
特別利益	338	-
特別損失	10	1
税金等調整前当期純利益	5,468	4,671
法人税等	1,689	1,437
当期純利益	3,778	3,226
1株当たり当期純利益	115円77銭	100円04銭

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期末 2022年8月31日	当期末 2023年8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,442	1,812
投資活動によるキャッシュ・フロー	△471	3,417
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,202	△2,935
現金及び現金同等物の増減額	△218	2,298
現金及び現金同等物の期首残高	5,679	5,460
現金及び現金同等物の期末残高	5,460	7,759

Point
新型コロナウイルス感染症による活動制限が解除されたことで、医療機関への訪問規制の緩和、国内外での営業活動の回復により、旅費交通費及び展示会費が増加しました。

Point
前期では、政策保有株式の保有意義の見直し結果による売却を進めた結果、投資有価証券売却益を計上しました。

Point
営業活動によるキャッシュ・フローは18億12百万円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入に対する払戻の超過収入等で34億17百万円の増加となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払(19億35百万円)、自己株式の取得(3億73百万円)を行いました。これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は77億59百万円となりました。

2023年8月期業績に関して Review of Performance

第74期業績に関して、売上高は計画を下回ったものの、利益は原油相場高騰による原材料価格の急激な高騰、物流費および人件費の上昇、為替相場での円安急進などの外部環境の急変により原価への影響が大きく現れることを見込んでおりましたが、利益率改善施策の結果、計画を若干上回る結果となりました。

	期初見通し	実績	計画比
売上高	182億円	171億円	5.6%減
営業利益	45億円	46億円	0.7%増

株主様への還元 Rewarding Policies

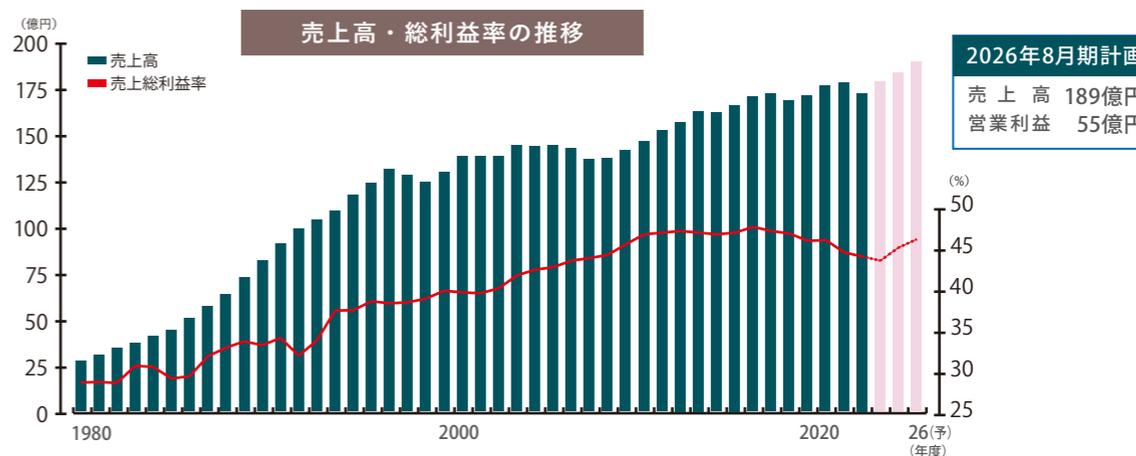
当社は、株主の皆さまへの利益還元の充実を経営課題のひとつとして位置付け、強固な財務体質の強みを生かし、配当性向を当社単体の純利益の50%以上、安定的な配当金額を継続とする方針で、必要に応じて自己株式の取得等を積極的に実施しております。

第74期の期末配当	自己株式の取得
1株60円 (単体・配当性向: 60.7%) (単体・総還元性向: 72.1%)	取得上限: 株数 50万株 金額 10億円 取得期間: 2023年6月30日～2023年12月11日 取得済み: 株数 16.4万株 金額 3.7億円 (2023年8月末現在)

事業戦略 Business Strategy

営業戦略	今後の取り組み
●コア市場(ヘルスケアウェア・ドクターウェアなど)の付加価値戦略での深耕	新ブランド「MACKINTOSH PHILOSOPHY」投入による市場活性
●周辺市場(患者ウェア・手術ウェア)のシェア拡大	コンベルパック・患者ウェアによるシェアアップ拡大
●当社ビジネスモデル展開による海外市場の開拓	洗濯アウトソーシングの普及とEC直販開拓
生産戦略	今後の取り組み
●適地生産の徹底	国内・海外での生産アロケーションを最適化 素材:国内素材から海外素材への生産移管によるコストダウン
●国内・海外での生産体制の強化	国内:QR・多品種小ロット生産への対応力増強 海外:海外工場を活用した低価格戦略商品の開発
●物流体制の適正化	配送効率化などの物流体制の見直し

日本国内の看護・介護の従事者数は、社会保障の拡充などもあり、安定的な増員が予想されています。2026年までの中期経営計画においては、インフレ等の外部環境の急変による対応として価格改定や効率化等を進め、その影響を段階的に最小化し、利益率の改善に努めてまいります。



会社概要 Corporate Outline

商号 ナガイレーベン株式会社 (2023年11月24日現在)

本社 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2丁目1番10号

設立 昭和25年7月20日

資本金 1,925,273,475円

社員数 126人(グループ従業員数511人) (2023年8月31日現在)

役員

代表取締役社長	澤登 一郎
常務取締役 経営企画本部長	齊藤 信彦
取締役 業務本部長	朝井 克司
取締役 企画本部長	山本 康義
取締役 営業本部長	新谷 欣哉
取締役 管理本部長	山村 浩之
取締役 常勤監査等委員	荻野 和孝
社外取締役 監査等委員	三嶋 浩太
社外取締役 監査等委員	野口 恵美子

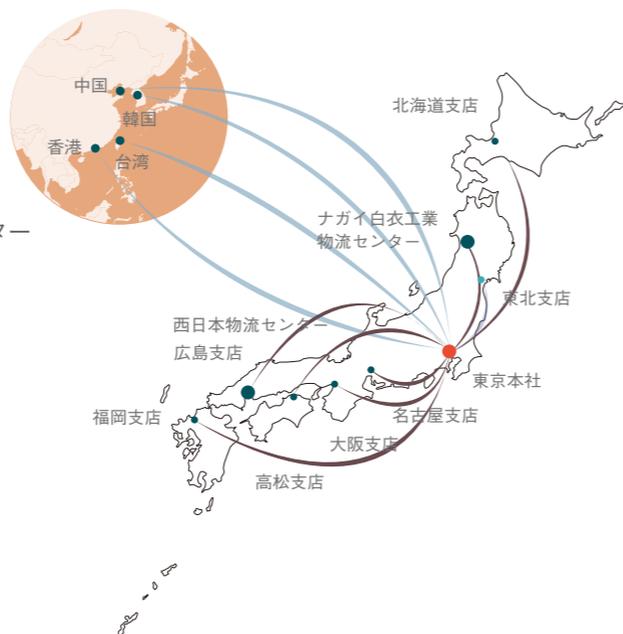
主な事業所

本社
 ナガイレーベン物流センター
 ナガイレーベン第2物流センター
 ナガイレーベン西日本物流センター

北海道支店 東北支店
 名古屋支店 大阪支店
 広島支店 高松支店
 福岡支店 台北支店

関係会社

ナガイ白衣工業株式会社



株式情報 Stock Information

株式情報

発行可能株式総数 100,000,000株

発行済株式総数 32,104,309株
(自己株式3,631,691株を除く)

株主数 3,191名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
澤登 一郎	5,813,613	18.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,434,500	10.7
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	2,199,327	6.9
JP MORGAN CHASE BANK 380055	1,743,534	5.4
有限会社登龍	1,455,300	4.5
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,146,100	3.6
澤登 辰郎	1,050,200	3.3
RBC IST 15 PCT NON LENDING ACCOUNT-CLIENT ACCOUNT	838,800	2.6
澤登 春江	623,600	1.9
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	608,547	1.9

注 1. 当社は、自己株式を3,631,691株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株価の推移



株主メモ

決算期 毎年8月31日

定時株主総会 毎事業年度末の翌日から3か月以内

基準日 毎年8月31日

公告掲載方法 電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
 公告掲載URL <https://www.nagaileben.co.jp/>

単元株式数 100株

銘柄コード 7447

上場証券取引所 東京証券取引所

株主名簿管理人 日本証券代行株式会社
 〒103-8202
 東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番4号

同事務取扱所 日本証券代行株式会社 本店
 〒103-8202
 東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番4号

郵便物送付先・お問合せ先 日本証券代行株式会社 代理人部
 〒168-8620
 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
 電話0120-707-843(フリーダイヤル)

各種手続のお申出先

- ・未払配金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等
 証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
- 証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行へお申出ください。



いのちの力になりたい。

ナガイレーベン株式会社

本社 〒101-0044 東京都千代田区銀冶町2-1-10 Tel.03-5289-8200 (代) Fax.03-5289-7935

営業本部 Tel.03-5289-7891 (代) Fax.03-5289-7917

北海道支店 〒065-0017 札幌市東区北17条東3-2-19 Tel.011-741-1416 (代) Fax.011-741-1417

東北支店 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-8-11 Tel.022-256-1001 (代) Fax.022-256-1004

名古屋支店 〒461-0002 名古屋市東区代官町35-16第一富士ビル6F Tel.052-979-4300 (代) Fax.052-979-4301

大阪支店 〒537-0024 大阪市東成区東小橋1-17-26 Tel.06-6977-2221 (代) Fax.06-6977-3700

広島支店 〒733-0003 広島市西区三篠町2-17-16広本ビル1F Tel.082-509-3001 (代) Fax.082-509-3003

高松支店 〒761-0113 高松市屋島西町1897-17 Tel.087-843-2328 (代) Fax.087-843-2329

福岡支店 〒810-0013 福岡市中央区高砂2-11-11 Tel.092-526-7778 (代) Fax.092-526-7779

台北支店 台北市中山區復興北路178號8F之4 Tel.02-2545-5885 (代) Fax.02-2545-6149

ナガイレーベンホームページ <https://www.nagaileben.co.jp>

いとなギャラリーホームページ <https://www.itona.jp>



ナガイレーベン株式会社は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。